

ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題に関する アプリケーション開発・研究開発の推進体制について（案）

ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題（九の重点課題、四の萌芽的課題。）に関するアプリケーション開発・研究開発（以下「本プロジェクト」と呼ぶ。）を推進するにあたり、全体的な観点から本プロジェクトの運営を定常的かつ強力にフォローアップし、本プロジェクトの進捗状況の把握・評価・改善提言・指導・課題間の調整等を行う機関を設ける。当該機関として、文部科学省は本プロジェクト全体に対して横断的に進捗状況の把握等の役割を果たす「ポスト「京」重点課題推進ワーキンググループ」（以下、「WG」と呼ぶ。）をHPCI計画推進委員会のもとに設ける。また、各代表機関は実施する重点課題に対して進捗状況の把握等の役割を果たす「諮問委員会」を設ける。

【ポスト「京」重点課題推進ワーキンググループ】

全体的な観点から本プロジェクトの運営を定常的かつ強力にフォローアップし、プロジェクトの進捗状況の把握・評価・改善提言・指導・課題間の調整等を行う機関としてHPCI計画推進委員会のもとに文部科学省が設ける。

○機能：

WGの機能として以下の3つを担う。

1. 実施機関より提出された実施計画等に対する改善提言・指導
2. 実施機関の進捗状況に対する把握、提言・指導
3. その他本プロジェクトの推進に関すること

具体的には、実施機関の報告によりプロジェクトの進捗状況を把握し、以下を実施する。

- ・全体的な観点からプロジェクトの実施計画や進捗に関し必要な提言等を行う。
- ・重点課題間の予算の配分方針や計算資源の配分方針等について必要な提言等を行う。

○構成：

WGは以下の有識者から構成される。

1. 特定の重点課題に関する専門性を有するもの
2. その他プロジェクト推進に有益な専門性を有するもの
3. ポスト「京」の開発主体を代表するもの

○運営

WGの事務局、開催頻度等は以下の通りである。

- ・事務局：文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付 計算科学技術推進室
- ・開催頻度：年2回程度開催

【諮問委員会】

第三者の視点でプロジェクトの進捗状況の把握・評価・改善提言・指導等を行う機関として、実施機関のもとに「諮問委員会」を設ける。その際、設置に当たってはWGの意見を聞くこととなる。

○機能

諮問委員会の機能として以下の3つを担う。

1. 実施機関が提出する実施計画等に対する改善提言・指導
2. 実施機関の事業進捗状況の報告に対する把握、提言・指導
3. その他当該重点課題の推進に関すること

○構成

諮問委員会は、外部有識者及びオブザーバから構成される。

1. 外部有識者

外部有識者は、利害関係を考慮の上、実施体制外の有識者を代表機関の責任において選定する。多数の視点から改善提言・指導を行うことができるよう、次の視点を持つ者を充てて、バランスの良い構成となることが望ましい。

「計算機科学・計算科学」視点：

- ・アプリケーションがシステム上において効率よく実行可能か
- ・超大規模並列シミュレーションや大規模アンサンブルシミュレーションによる適切な成果となっているか

「実験等研究」視点：

- ・実験等を含めた分野全体からみて計算科学に期待される適切な成果となっているか
- ・実験等との連携による相乗的な成果が期待されるか

「産業界等」視点：

- ・課題解決に資する成果が期待されるか
- ・課題解決への貢献（成果の利活用等）のロードマップや体制は適切か
- ・産業界等との連携による相乗的な成果が期待されるか

2. オブザーバ

オブザーバとして以下が参加する可能性がある。

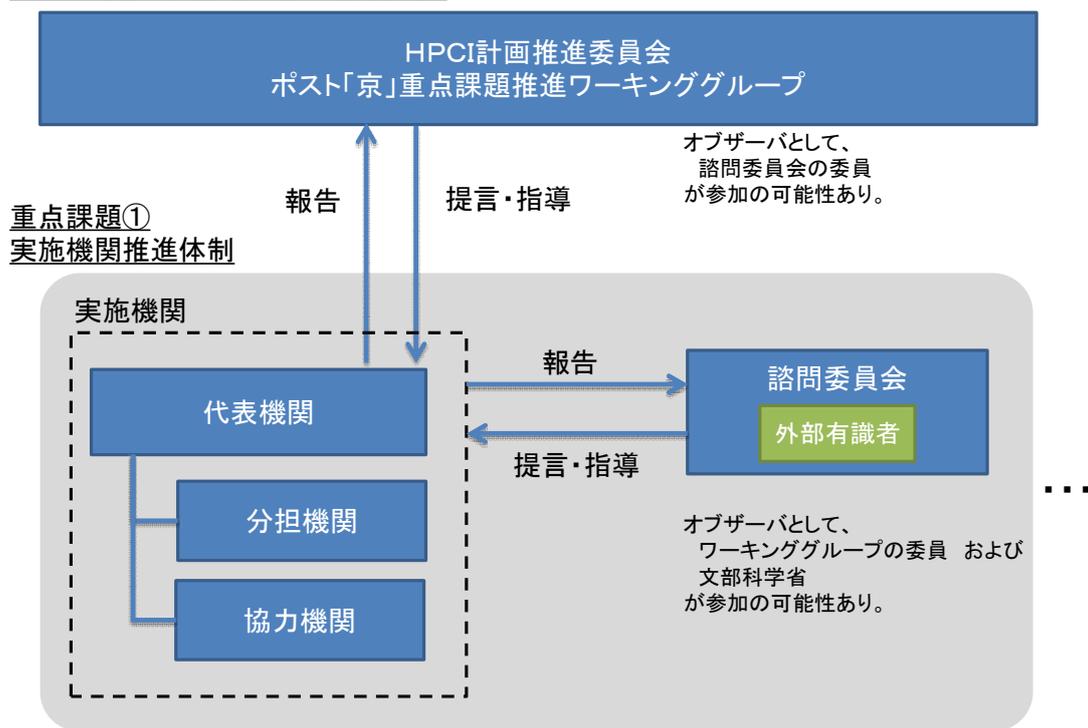
- ・WGの委員
- ・文部科学省

○運営

諮問委員会の事務局、開催頻度等は以下の通りである。

- ・事務局 : 代表機関
- ・開催頻度 : 年2～4回程度開催
- ・その他 : 諮問委員会の委員はWGにオブザーバとして参加する可能性がある。

ポスト「京」重点課題の推進体制(案)



重点課題②～⑨についても同様

ポスト「京」重点課題推進ワーキンググループ担当課題一覧

委員氏名	所属	担当課題
相原 博昭	東京大学 大学院理学系研究科 物理学専攻	⑨
安達 泰治	京都大学 再生医科学研究所	②
宇川 彰	理化学研究所 計算科学研究機構	ポスト「京」開発主体
大石 進一	早稲田大学 理工学術院	数理科学
小柳 義夫	神戸大学 計算科学教育センター	主査
河合 理文	株式会社IHI 技術開発本部	⑥⑧
栗原 和枝	東北大学 原子分子材料科学高等研究機構	⑤⑦
白井 宏樹	アステラス製薬株式会社 バイオサイエンス研究所	①
住 明正	国立環境研究所	④
福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター	③
松岡 聡	東京工業大学 学術国際情報センター	システム

<重点課題一覧>

- ①生体分子システムの機能制御による革新的創薬基盤の構築
- ②個別化・予防医療を支援とする統合計算生命科学
- ③実施・津波による複合災害のと統合的予測システムの構築
- ④観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化
- ⑤エネルギーの高効率な創出、変換・貯蔵、利用の新規基盤技術の開発
- ⑥革新的クリーンエネルギーシステムの実用化
- ⑦次世代の産業を支える新機能デバイス・高性能材料の創成
- ⑧近未来型ものづくりを先導する革新的設計・製造プロセスの開発
- ⑨宇宙の基本法則と進化の解明